

SNSで旬な情報を投稿しています



特集 | 第10回通常総代会



JAしまねは統合して10年を迎えました
—— 2015 ▶ 2024 ——



2024

JAしまね第10回通常総代会を6月30日(日)、
出雲市の出雲市民会館で開催しました。



今年で第10回を数える通常総代会を6月30日(日)、出雲市の出雲市民会館で開催しました。

当日は、総代定数1,000人(欠員3人)に対し、965人(書面決議を含む)が出席。議長団に、胡摩田弘孝総代(石見銀山地区本部)、齋藤学総代(西いわみ地区本部)の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

石川寿樹組合長は「令和6年度は農林中央金庫の決算悪化による還元減少や共済事業における保有高の減少などにより、大幅な収益減少が予想されるが、これまで取り組んだ事業改革の成果もあり事業利益で8,000万円、当期剰余金2億2,800万円を目標に掲げ取り組む。また、農業振興支援事業についても昨年度同様1億5,000万円を計画し、米粉・有機農業の生産拡大、自動車燃料事業の県域会社化、ホームセンターとの連携にも引き続き取り組み、成果を出していきたい。JAを取り巻く環境は厳しいが、抱えている課題に対ししっかり検討を進め、組合員の負託に応えられるよう10年先を見据え更なる改革を行っていく」とあいさつしました。

また今回、食料安全保障の強化に向けた基本農政の確立に関する特別決議が、満場一致で採択されました。

食料安全保障の強化に向けた施策の具体化を政府・与党に求めるとともに、総合事業の強みを活かした活動と事業の好循環を目指し、さらには国産農畜産物の適正な価格形成の実現へ向け、「国消国産」運動を強力に展開することを確認しました。



議長団 胡摩田弘孝 総代(左) 齋藤学 総代(右)



石川寿樹 代表理事組合長

食料安全保障の強化に向けた 基本農政の確立に関する特別決議(案)

我が国農業においては、生産資材価格の高止まりが依然として続く一方で、世界的な物価高騰の波のなかでも、その流れに国産農畜産物だけが取り残されている。このままでは、多くの地域で営農が継続できるかどうかという危機的な状況にまで立ち至っている。

このようななか、JAグループのこれまでの政策提案を十分に踏まえた形でとりまとめられた「食料・農業・農村基本法改正案」の国会審議が行われ、今国会で成立した。

JAグループは、食料安全保障の強化や適正な価格形成の実現、多様な農業者への支援等、新たな基本法に沿った形で、次期基本計画において、早急に施策の具体化を図っていくことを、政府・与党に強く求めていく。

今後、JAの組織・事業・経営基盤が厳しさを増すなかで、不断の自己改革に取り組みながら、総合事業の力を発揮して、活動と事業の好循環による組合員の営農と豊かな暮らしを実現させることが重要であり、組織内外に理解・共感されるよう取り組みの具体化をはかる。

さらに、安全・安心な国産農畜産物を安定的に供給するというJAグループの使命を果たすとともに、我が国の食と農に対する国民理解の醸成と国産農畜産物の適正な価格形成の実現に向け、「国消国産」をキーワードに、消費者・事業者等への理解醸成・行動変容を促す取り組みを強力に展開する。

以上、決議する。

令和6年6月30日

第10回 島根県農業協同組合 通常総代会

特別決議

第10回

通常総代会特集

令和5年度 事業報告

令和5年度は、コロナ禍を乗り越え、緩やかな回復基調を取り戻し、行動制限解除に伴う各種イベントの再開や海外からの訪日客の増加などにより、経済活動も活発になってきました。

一方で、ロシアによるウクライナ侵攻以降、国際的な資源価格高騰に加え円安傾向が続いたことにより、肥料・飼料をはじめとした生産資材価格等は高止まりを続け、農業経営に深刻な影響を与えました。

島根県内の経済においては、個人消費や雇用情勢等持ち直しの動きが続いており、全体的に緩やかな回復の動きが見受けられるものの、国際情勢等を踏まえた金融・為替市場の動向や物価へ与える影響について、引き続き注視していく必要があります。

農業情勢においては、6月から8月にかけて発生した大雨・台風災害、記録的な猛暑により各地で農産物・農業施設等に被害をもたらしました。また、1月に発生した令和6年能登半島地震により北陸地方を中心に甚大な被害が発生しましたが、全国各地から支援が送られており、引き続き復興支援の取り組みを進めていく必要があります。

JAグループにおいては、引き続き「不断の自己改革」に全力で取り組むことを通じ、農業生産基盤の確立、地域・組織・事業基盤の確立、経営基盤の強化をすすめるとともに、わが国の食と農に対する国民理解の醸成と国産国産の確立に向けた取り組みをすすめました。



日高光弘 代表理事専務

貯金残高	1兆6億74百万円
貸出金残高	2,909億92百万円
長期共済保有高	2兆7,724億91百万円
自己資本比率	13.44%
事業利益	7億13百万円
経常利益	20億54百万円
当期剰余金	13億72百万円
販売品販売・取扱高	390億20百万円
購買品供給高	317億38百万円

こうした状況の中、令和5年度は「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の2年目として、園芸振興、担い手確保・育成、また有機農業をはじめとした付加価値の高い、地域資源を活用した循環型農業の拡大に向けた取り組みを実施しました。

取り組みの結果、販売品販売・取扱高が390億20百万円、購買品供給高が317億38百万円、貯金残高が1兆6億74百万円、貸出金残高が2,909億92百万円、長期共済保有高が2兆7,724億91百万円となりました。また、財務状況の安全性を示す指標である自己資本比率は13.44%となりました。

収支面については、事業利益が7億13百万円、経常利益は20億54百万円となり、当期剰余金は13億72百万円となりました。

【議案】

- 本総代会にて付議した議案は次のとおりです。
- 第1号議案 令和5年度事業報告及び剰余金処分案について
 - 第2号議案 令和6年度事業計画の設定について
 - 第3号議案 定款及び定款附属書総代選挙規程の一部変更について（特別決議案）
 - 第4号議案 規約の一部変更について
 - 第5号議案 「一般社団法人ファームサポート美郷」からの退社について
 - 第6号議案 令和6年度指導事業に要する経費の賦課及び徴収の方法の決定について
 - 第7号議案 退任理事に対する退職慰労金の支給について
 - 第8号議案 令和6年度における理事の報酬額の決定について
 - 第9号議案 令和6年度における監事の報酬額の決定について



令和6年度 運営方針・事業方針

指導事業

農業振興

令和6年度は「第3次農業戦略実践3カ年営農計画」の最終年度として、2カ年の進捗状況と中間総括を踏まえ施策の遂行を通じて、「農業者の所得増大」「農産物の拡大」「地域の活性化」に繋がる目標の達成に全力で取り組みます。

持続可能な地域農業を実現するため、中核的担い手や新規就農者、多様な農業者に対する積極的な支援、活動を通じ「農業者の所得増大」「農産物の拡大」を目指すとともに、「みどりの食料システム戦略」を踏まえ、持続可能な生産体系の構築に向けた環境調和型農業を推進します。

また、物流の2024年問題への対応が求められるなか、産地間連携による広域物流改善への体制づくり、取り組みをすすめるとともに、産地へのコスト負担が集中しないように施策の拡充をJAグループとして求めています。

重点実施事項

- ①次世代総点検運動の取り組みと地域の担い手育成
- ②担い手経営体の経営課題に対応した農業経営支援

- ③JAの総合力を発揮した事業承継支援の実施

- ④農作業等の安全・安心対策

- ⑤インボイス制度導入に係る部門(品目) 横断的な情報発信

- ⑥営農指導・生産振興での生産者貢献

- ⑦農業振興支援事業の実施

- ⑧島根県産農畜産物の安全・安心の取り組み

- ⑨農業労働力確保対策

- ⑩将来にわたって持続・発展する島根農業を可能にするスマート農業の推進

くらしの活動、広報活動、地域貢献・地域活性化

JAくらしの活動の実践にあたっては、活動の理解促進、女性部・青年組織・支店ふれあい活動などと連携した活動の展開や教育文化活動の場づくりに努めます。



販売事業

農業戦略実践3カ年営農計画に掲げた「持続可能な地域農業の実現」に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

農産物の販売経路の多角化や野菜の加工業務用需要の増大等の流通・販売環境の変化に対応するため、株式会社JAアグリ島根・JA全農グループ等と連携を図り、有利販売と産地化を実現します。

購買事業

生産資材

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、物流改革や資材店舗改革、EC取り引きの開始等による効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

生活購買

組合員・地域住民の暮らしを支援し、地域の活性化に貢献するとともに、事業の効率化とサービスの充実に努め、「安心」と「満足」を感じていただける事業展開を行います。

信用事業

持続可能な島根の農業と、豊かでくらしやすい地域共生社会を実現するため、JAしまねの総合事業を活かしながら、貯金、貸出金といった生活基盤を支える事業を中心に様々な相談機能やコンサルタント機能を提供し、農業・くらし・地域によりそう金融仲介機能を発揮します。

共済事業

組合員・利用者に「寄り添い」、包括的な安心を「届け」、地域農業・地域社会とより深く・長く・繋がっていくことにより、組合員・利用者への「安心」と「満足」を提供します。併せて、組合員・利用者一人ひとりのニーズに応じた事業活動を実践し、事業環境の変化に適切に対応した事業展開と地域農業・地域社会への貢献に取り組みます。

※令和6年度事業計画より一部抜粋

令和5年度実績や令和6年度事業計画の詳細などは、JAしまねホームページ掲載の通常総代会資料をご覧ください。

総代会資料
はこちら





功労者表彰 名簿

第10回通常総代会開催にあたり、昨年9月の総代任期満了により総代を退任された皆様のなかから、統合前を含めて長年に渡りご尽力いただいた皆様方を讃え、功労者表彰を行いました。

くにびき地区本部

井上 正雄 鍛冶 敏博 青戸 悟 寺本 敏夫
北野 清 高井 美範 中村 周一 菅田 秀高

(8名)

やすぎ地区本部

原田 稔 内田 卓実 原 政男 梅瀬 倫住
難波 秀夫 倉井 宏

(6名)

雲南地区本部

内田 幹雄 藤原 功 荒木 正 石田 朋子
佐佐木孝雄 山本 雅臣 加本 恂二 高橋美佐子
原 要吉 今岡 幹雄 勝部 治男 星野 昭美
藤原 順一 市場 栄 瀧 元 森山 泰孝
渡部世津夫 川角 茂 大島 伴江 藤原 徳二
石原 繁 岡田 博文

(22名)

隠岐地区本部

田中 恵吉 池田 修千 脇 良男 佐々木静夫
佐々木秀夫 井川 寛

(6名)

隠岐どうぜん地区本部

灘 誠太郎 向濱 樽幸 梅原 文雄

(3名)

出雲地区本部

渡部喜代人 高塚ヨシミ 矢田 泰男 吾郷 益雄
飯塚 啓二 西尾 信昌 三島 清三 福田 一樹
田中 正和 長岡 光孝 長岡 一子 安田 稔
小川 久吉 兄玉 一好 伊藤 安治 藤江 鉄雄
石飛 嗣男 岡田 哲雄 武田 一男 石飛 憲治
竹下 茂 谷口 秋子 白根 重雄 柳楽 典子
板垣 房雄 神田 利幸

(26名)

斐川地区本部

高橋 英樹 渡邊 重夫 陰山 智 山根 陽一
高橋 正 尾原 武治 古川 和義 山根 猛

(8名)

石見銀山地区本部

和田 全司 坂根 智子 荊尾 敏 吉原 和俊
石飛 光男 松尾 薫 森田 秀治 厚朴 邦広

(8名)

島根おおち地区本部

細貝 輝男 黒川民次郎 福島教次郎 長畠八志登
加茂 秀幸 金川 正夫 石川 秀晴

(7名)

いわみ中央地区本部

竹本 俊 石田 善正 多田 正哉 石田 将
塚本 守 小西喜美子 島本 宏 栗栖 一雄
反田 正利

(9名)

西いわみ地区本部

寺戸 建治 田中 勉 平川 喜章
田中 豊志 石橋 剛 北條 義洋 大内 浩明
宅野 政行 元岡タツ子 西川 友史 齋藤 勝之
岡本 隆 林 靖登 斎藤 勲 和田 悦子
三浦富士義 山本 健次 河野 孝祐 佐々木富隆
水津 正

(20名)

。令和5年9月退任の皆様。順不同。123名



JAしまね統合10年記念式典 ～「農業」と「地域」と「暮らし」のために～

JAしまねは、組合員・地域の皆さまのおかげをもちまして、今年3月に誕生して10年の節目を迎えることができました。当JAはこれからも農業と地域社会に根ざした取り組みを積極的に行ってまいります。



功労者表彰を受けた萬代元組合長（前列左から5番目）、
竹下前組合長（前列左から7番目）と来賓、JA役員ら

組合長のリーダーシップや統合による万全な経営基盤などさまざまな努力で乗り越えてきた。この作り上げられた基盤をもとに、将来にわたる持続可能なJAづくりを目指し、『攻めの改革』に取り組んでいく」と話しました。

第10回通常総代会を行った同日、出雲市の出雲市民会館でJAしまね統合10年記念式典を開きました。各地区本部の総代やJA役員、歴代組合長、来賓らが出席。統合から現在までの歩みを振り返り、次の10年に向け気持ちを新たにしました。

式典では、JAしまね統合の協議を主導し初代組合長としてJA運営に尽力した萬代宣雄元組合長、2代目組合長として統合メリット発揮に向けリーダーシップを発揮した竹下正幸前組合長を讃え、功労者表彰を行いました。

当JAの石川寿樹組合長は「統合以来、さまざまな荒波が押し寄せJAの経営に多大な影響を与えたが、歴代



統合10年を
記念して作成した
記念誌・動画は
JAしまね
ホームページより
ご覧ください。



第10回 総代会Q&A



農林中央金庫に関する質問

・多額の赤字が見込まれる今回の農林中央金庫の問題は許されない事案だと考えている。ＪＡしまねとして農林中央金庫へしっかり抗議すべきである。また、経営陣の責任はどうなっているのか。

- ・農林中央金庫に対し、組合員がＪＡへ預けた大切なお金を預かっているという自覚と責任を持って運用するよう伝えてほしい。
- ・農林中央金庫の収支状況はいつ回復するのか。

回答 6月に行われた農林中央金庫の総代会や県代表者会へ、当ＪＡより石川寿樹組合長が出席し、今回の件に対し経営管理委員会および理事の経営責任について意見しました。その中で、報酬を減額することや、再建に向けた道筋を立てるため現体制を継続する旨の答弁がありました。理事長以下常勤役員が辞めることになれば、ますます混乱が深まることにもなり、今後、系統としての農林中央金庫の在り方について再考するとともに、農林中央金庫が全国のＪＡからの増資を受けながら一日も早く立ち直られるよう支えてまいります。

農林中央金庫は資本増強を受け、令和7年度以降の黒字を計画しており、以降は還元が受けられると予想されます。

人事部門に関する質問

・人事制度の一本化（新人事制度）について、なかなか協議が進んでいないと聞く。具体的に何が支障となっているのか。

- ・農業者の所得向上も大事だが、並行して職員の賃上げも重要だ。優秀な人材が辞めていくような組織ではいけない。職員が減ると営農活動が守られなくなってしまう。
- ・職場の雰囲気も大事である。働きやすい職場づくりに向けた取り組みを教えてください。

回答 原因として、総労働時間の短縮や完全週休二日制の導入、外勤日体制、地区本部ごとに定めている手当が統一できていないなどの課題整理があげられます。初任給を引き上げるためにも、ＪＡしまね全体の賃金体系の見直しが必要です。新人事制度について、令和6年度中に実施する強い思いで協議を進めてまいります。

ＪＡしまねでは人事教育基本方針を策定し、これをもとに職員の人事や教育を行っています。また、職場内の不祥事やハラスメント行為を報告するヘルプラインも設置しています。引き続き、職場での働きやすさ、職員がやりがいを持って働けるよう職場環境を整えてまいります。

食と農に関する質問

・「食・農・ＪＡ」について資料に記載があるが、農業を取り巻く環境が厳しさを増す中、子どもや孫たちが育っていく10年後の「食と農」が心配である。農業にも食べ物にも苦しむことのない、持続可能な輝かしい未来を作してほしい。

回答 令和6年度基本方針に掲げているとおり、「食・農・ＪＡ」への県民の理解醸成に取り組んでまいります。また、ＪＡの最大の使命は食と農を守ることであり、そのためにも自己改革に取り組み、そこで生み出した財源を農業振興に活用してまいります。

運営体制に関する質問

・総代会だけではなく、もう少し時間をかけて組合員に説明する必要があるのではないか。

- ・どのように説明の場を設け組合員の意見を聞くのか。また、地区本部制や事業本部制などのメリット・デメリットを分かりやすく説明し、しっかりと意見を聞いた上で次の方向性を示してほしい。
- ・組合員で成り立っている農協であることを十分認識をいただいて、11地区本部はそのままにしていきたい。これ以上の合理化は組合員離れにつながるなどの認識でいる。組合員のための農協になっていただきたい。
- ・地区本部制をいつまでもやっていく必要はないと思う。組合員に不便があってはいけないが、管理部門をまとめることで経費を抑え、それを営農部門や地域に密着したものの強化につなげるなど、ＪＡの将来を見据えてやっていくべきだと思う。

回答 現在の地区本部制は、県内11ＪＡが統合してスタートさせるには非常に有効な仕組みでありました。一方、事業を進めていく中で、地区本部制の良い点・悪い点が見えてきました。また、統合当時では考えられないほどＪＡや農業を取り巻く環境は厳しさを増しており、将来を見据えた際に、より良い運営体制があるのではないかと令和6年度事業計画に記載いたしました。今後、組合員の皆さんとしっかり議論し、できれば11月頃に臨時総代会を開き方向性を判断いただきたいと思います。

財務調整に関する質問

・財務調整未達地区本部の補填減資は出資配当のはずだが、理事会で決定した純財産計算方式で埋め込んだら財務調整が達成できたとの説明があった。純財産計算方式で埋め込むことは令和元年の第5回総代会資料に載っているとのことだが、それまでの年度でも組合員がわからないなかで理事会決定してすでに埋め込んでいたのではないかと。理事会での決定について、どのような経緯で決定されたか知りたい。

回答 統合前に取り交わした「統合に関する確認書」では、財務調整基準額に満たないＪＡ（地区本部）は、①財務調整基準額に達するまで統合後の出資配当を増資財源とすること②統合後10事業年度までこの取扱いを行うことの2点が書かれています。

1点目の対応については、未達地区本部の出資配当はＪＡで留保し、出資1口金額になったら出資金に振り替えるという取扱いを行っています。

2点目の対応についても、いわみ中央地区本部が平成27年度決算、西いわみ地区本部が平成28年度決算、島根おおち地区本部が平成29年度決算で、それぞれ財務調整基準額に達し、残る雲南地区本部も最終の10事業年度である今次決算で達しました。

未達額に当該地区本部の当期剰余金を充当して財務調整基準額に達したかを判断する方法については、統合後は地区本部ごとの純財産計算ができない仕組みのため、純財産計算方法に準じた方法として平成28年5月の理事会で協議・決定を行い、令和元年6月の第5回通常総代会にも報告させていただいています。

この他にも
多くの意見を
いただきました。



©よい食P



topics 1

令和6年度水稻生産者大会を開催



島根県と島根県農業振興協会、JAしまねは7月11日、「食味・品質の向上で売れる米づくりを目指して」をテーマに令和6年度水稻生産者大会を開きました。大田市のあすてらすをメイン会場に、各地区本部などをオンラインでつなぎ生産者や県、JAの担当者ら約270人が参加。消費者動向や高温条件下での栽培管理などについて学びました。



堀野さんの講演を聞く参加者ら

基調講演では3人の講師を迎え、このうち堀之内実験農園の堀野俊郎さんは「米の品質・食味研究と地域産米づくりへの適用」と題して講演。長年の食味研究を踏まえて、飯南町に伝わる「稲を作るな、い〜ね（根）を作れ」という言葉から発想を得た、鉄材散布による根腐れ対策と疎植による倒伏対策を組み合わせた栽培方法が良質・良食味米づくりにつながったと発表しました。

また、JAアグリ島根からは島根米の販売に関する情報提供があり、島根県農業技術センターからは、水稻栽培の高温対策として稲穂が出て種子が成長する時期（登熟期）の水管理が地温低下に有効であることや昨年県内でも発生が確認され始めたイネカメムシの発生状況や防除対策などについて報告しました。

topics 2

令和6年度島根県JA青年大会を開催



島根県農協青年組織協議会は7月17日、安来市の総合文化ホールアルテピアで令和6年度島根県JA青年大会を開きました。青年の主張と組織活動実績発表の2部門で各青年連盟から8人が発表。青年の主張の部は雲南青年連盟の藤原正博さん、組織活動実績発表の部はくにびき青年連盟の上山根有史さんが最優秀賞に輝きました。2人は12月12日に徳島県で開催される中国四国地区JA青年大会へ出場します。

藤原さんは、自身が水稻作業で困っていた際に盟友が助けてくれた経験から、農業機械や労働力などの農業経営資源を盟友同士でシェアする仕組みづくりを提案。青年連盟に加入するメリットを創り出すことで、盟友数の拡大や組織力強化にもつながると発表しました。



今大会で発表した盟友ら

審査員長を務めた一般社団法人家の光協会西日本普及文化局の小出繁副局長は「自身の経営ビジョンが盛り込まれた非常に意欲的な発表で、提案内容も明確・具体的で発展性も感じられた」と講評しました。

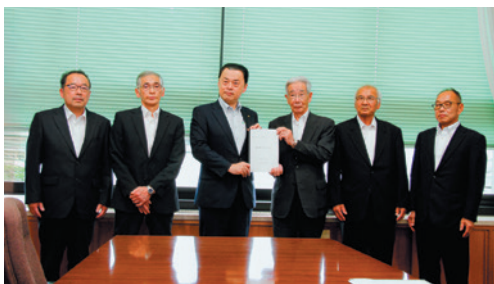
上山根さんは、くにびき青年連盟の食農教育活動について発表。農業に触れる機会が減る中、園児との米づくり体験やイチゴの出前授業など幼いころから関心を持ってもらうための4つの取り組みを紹介しました。

その他の入賞者は次のとおりです。

- ◆青年の主張の部優秀賞＝大森雄介（やすぎ青年連盟）
- ◆組織活動実績発表の部優秀賞＝伊藤 学（出雲青年連盟）

topics 3

県産たまごの消費拡大を 島根県養鶏協会が県知事を訪問



要請書を丸山知事（左から3番目）へ手渡す
同協会の竹下会長（左から4番目）ら

県内の養鶏農家で構成する島根県養鶏協会は7月5日、丸山達也知事を訪れ、鳥インフルエンザの余波で需要が落ち込む県産たまごの消費拡大や飼料・資材価格の高止まりの影響を受ける養鶏農家への支援を求める要請書を手渡しました。

現在、鳥インフルエンザの影響で大幅に減少した全国の飼養羽数は元に戻りつつある一方で、たまごの消費が回復せず価格が大幅に下落。このような中で県外産たまごが県内市場に対して積極的な売り込みの動きがあり、県内スーパーなどで県内生産者の販路が奪われかねないといった厳しい状況が懸念されます。

この状況を踏まえ、同協会は県産たまごの地産地消・消費拡大の取り組み支援や配合飼料価格安定制度の見直しを国へ求めること、県産飼料用米の増産に向けたJAとの連携強化などを要望しました。丸山知事は「県としてもこの危機感を共有しながら今後の対策をしていきたい」と応えました。

同協会の竹下正幸会長は「県民の皆さんに消費拡大に向けた対応策を知っていただき、県産たまごを消費してもらえる状況を作っていきたい」と話しました。



同協会が今年7月に行った島根県鶏卵品質改善共励会で最優秀賞に輝いた(有)福田ファームのたまごを味わい、県産たまごをPRする丸山知事



想いをひとつに✿ しまねの女性部！

西いわみ女性部

JA女性組織3ヵ年計画

「JA女性 想いをひとつに かなえよう✿」の実践3年目です。

つながろう✿

まもろう✿

かかわろう✿

の3つの具体的目標を掲げ活動します。

つながろう✿

仲間と・地域と・他組織と・次代と



JAしまね西いわみ女性部は、JA全国女性組織協議会が掲げる共通目標「つながろう」「まもろう」「かかわろう」をもとに、12の支部で年間計画を立てながら活動しています。



年に一度の恒例イベントとして、全女性部員が参加するグラウンドゴルフ交流会や生活研修旅行を企画し、部員同士の交流を深めています。その他にも、女性部としてJAの支部祭り、地域のイベント、ミニデイスービス、ちやぐりんフェスタ、JA地区座談会、おもてなしプロジェクト、目的別グループ活動（料理、手芸、読書会、野菜作り、50年続く味噌作り、地域貢献）など、積極的に参加・活動しています。

また、同女性部が行う「手作りハム」の活動は好評で、今年も各支部で取り組んでおり、女性部活動のメインとなっています。この活動は部員の新規加入にもつながっています。

今後もJAや地域に貢献しながら女性部が団結し、みんな楽しく活動していきたいと思っています。



JA YOUTH

一所懸命青年連盟

JAしまね島根おおち青年連盟

地産地消に取り組み、農業を通じて、地域に貢献していきたい

おがさわら
小笠原

こういち
晃一さん



JAしまね島根おおち青年連盟石見支部（以下、農青連）に加入している小笠原晃一さん（40）は、地元邑南町で就農して今年で8年目。県内の農林大学校を卒業後、11年間は花・野菜農家へ雇用就農。そこで働く中で「自分の手で消費者に『美味しい！』を買いたい！」と笑顔で評価してもらえ物を作りたい」という気持ちを持つようになり、8年前から野菜農家として自営就農を始めました。安全・安心をモットーに、夏はミニトマト、冬は白ネギ、その他にもピーマン、キャベツなど幅広く野菜を栽培しています。

農青連としては島根県農協青年組織協議会の委員を務めている小笠原さん。「島根おおちはもちろんだが、島根県全体の農青連を盛り上げられるような活動をしていきたい！」と今後の展望を熱く語りました。

カラフルな葉は観賞用にも

スイスチャードは和名をフダンソウ（不断草）といい、ホウレンソウと同じアカザ科の野菜で、おひたし・あえ物・炒め物に利用します。

生育適温は15～20度ですが、暑さ・寒さに強く、ホウレンソウの作りにくい夏に容易に栽培ができます。このように、フダンソウの名前は季節を問わず絶え間なく栽培できることに由来します。中間地では、春まきは4月に種まきし、5、6月に収穫し、夏まきは7月にまいて8月に収穫できます。秋まきは10月に種まきし、12月から下葉をかきながら収穫を始めます。

品種

「アイdeal」(サカタのタネ)、「ブライトライト」(タキイ種苗)は葉柄、葉脈が赤、白、黄色などに着色します。フダンソウと呼ばれる品種には、「ふだん草」「うまい菜」などがあります。

畑の準備

事前に1平方m当たり苦土石灰150gを予定の畑に散布して耕しておきます(図1)。その後、化成肥料200gと堆肥2kgを施し、床幅90cmの栽培床を作ります。

種まき

10～30度で発芽し、適温は25度程度です。じかまきでは条間20cm程度、株間5cm程度の間隔で1カ所に3、4粒を種まきします(図2)。1粒の種(種球)から2、3本発芽するの

栽培カレンダー (スイスチャード)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
冷涼地	●	■	■	●	■	●	■	■		
	春まき			夏まき		秋まき				
中間地	●	■	■	●	■	●	■	■		
暖地	●	■	■	●	■	●	■	■		
	春まき			夏まき		秋まき				

● 種まき(じかまき) ■ 生育 ■ 収穫

で、厚まきしないよう気を付けましょう。種まき後は、不織布でべたがけをして、幼苗を保護すると良いでしょう。苗作りをする場合はセルトレーや小型ポットを使い、本葉5、6枚まで育て、栽培床に条間20cm程度、株間15cm程度に植え付けます。

間引き・追肥

発芽後2、3回に分けて間引きます。初めは本葉が開く頃に、生長の遅れた株や密になっている所の株を抜き取ります。最後の間引きで本葉4、5枚の頃に株間15cm程度にします。このとき追肥として化成肥料は1平方m当たり30g程度を条間に施して根元に軽く土寄せします。

収穫

えぐみの少ない若取りを心がけ、春まきで種まき後40～50日、夏まきで30～40日、秋まきでは40～60日で、草丈が20cmくらいから収穫します(図3)。下葉からかき取って利用すると、長い間楽しめます。カラフルな品種を観賞用とするとき

は、葉の長さを40～50cmまで大きくすると良いでしょう。また、秋まきでは冬に向かうにつれ、葉が鮮やかに着色します。

図1 畑の準備

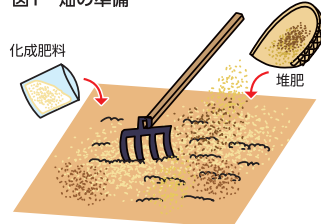


図2 種まき(じかまき)

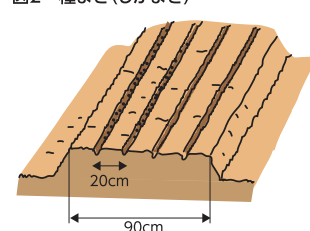
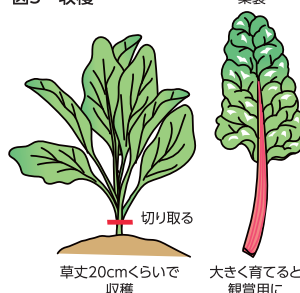


図3 収穫



理事会情報 (7月2日開催)

【協議事項】

- ①新規プロジェクトの設置について
- ②令和6年度補助事業の実施について
- ③令和6年7月4日付・8月1日付 機構改革の実施について

- ④第10事業年度業務報告書について
- ⑤常勤理事の他の団体理事等への就任について
- ⑥人事ローテーション実施要項の制定について
- ⑦新人事制度導入に向けた今後の進め方について

理事会情報 (7月29日開催)

【協議事項】

- ①令和7年度島根県農業政策及び予算に関する要望について【第一次案】
- ②ディスクロージャー誌2024について
- ③農林中金からの資本再構築の協力要請への対応につ

いて

- ④大口貸出について
- ⑤理事(常勤・非常勤)と組合の取引について
- ⑥令和5年度決算監事監査報告書整備改善を要する事項(個別意見)への回答について

ぶどう栽培講習会開催



いわみ中央ぶどう部会（塚本守部会長）は、6月18日、浜田市金城町において栽培講習会を開催しました。

当日は多くの生産者が参加され、西部農林水産振興センター農業振興部重行普及員より、現在の生育進捗の確認や摘粒から収穫前の管理について講習を受けました。管内のぶどうの状況として、カメムシやコガネムシの発生が若干散見されるほか、6月上旬より天候や気温が高く推移し、早い園では顆粒軟化期を迎えています。雨よけの作型の多くはGA処理後から摘粒時期を迎え、花ぶるいも少なく実止まりも良好となっています。

講習会終了後は、摘粒の実践や着色向上に向けた対策、現場を見ながら会員同士で今後の栽培ポイントについて意見交換を行いました。

いわみ中央ぶどう部会では、6月末からデラウェアの出荷が開始され、7月に入りピオーネやシャインマスカットを中心とした大粒系ぶどうが出荷されています。

令和6年度 水稻生産部会総代会開催

いわみ中央水稻生産部会は、6月21日に浜田市黒川町のJAしまねいわみ中央地区本部ふれあいホールで、第19回いわみ中央水稻生産部会総代会を開催しました。

当日は33名が出席され、来賓として島根県西部農林水産振興センター農業振興部長中尾千秋様と江津市農林水産課長国沢精一様に祝辞を頂きました。

令和5年度事業・決算報告及び、令和6年度事業・予算計画などの議案を審議し、承認されました。

同部会の佐々岡常喜部会長は「米価が上がることを願って、1等比率の向上と反収アップに向けて部会全員で取り組み、よりよい地域を作りたい」と意気込みを話していました。



西条柿摘果講習会開催

いわみ中央西条柿生産組合（坪本徹夫組合長）は、7月4日に西条柿の摘果講習会を浜田地区（横山町）・三隅地区（東平原）の2会場で開催しました。

34名が参加し、西部農林水産振興センター南山技師を講師に迎え、主に「生育状況」「摘果」「追肥」「大雨・強風・台風対策」について説明を受けました。



園地や樹によって着果量に差があるため、全体の着果を考慮して摘果を行うこと、あわせて今年はいわみ全域にカメムシ注意報が発令されており、対策として防除などを徹底するように指導を受けました。今後は大雨や台風の影響がなければ、昨年と同等かそれ以上の出荷量になると見込まれます。



石見神楽伝承活動を
頑張る高校生にエール！

J A しまねいわみ中央地区本部とJ A 共済連島根は7月20日、21日に広島県安芸高田市で開催の「第13回高校生の神楽甲子園 ひろしま安芸高田」に出場する3校に、地域活性化および郷土芸能伝承活動を頑張る学校・生徒を応援するため、活動支援金を贈呈しました。各出場校とも「石見神楽」を通じ、地域社会との交流・活性化に努め、日々切磋琢磨しておられます。今後も、石見神楽の継のため活躍する3校の生徒に、応援をよろしく願います。

出場校は以下の通りです。(学校名・演目)

島根県立浜田養護学校
「大蛇」

島根県立浜田商業高等学校
「岩戸」

島根県立江津高等学校
「日本武尊」



江津高等学校



浜田商業高等学校



浜田養護学校

年金友の会活動グラウンド・ゴルフ、各地で交流&健康増進！

年金友の会 美川支部（浜田地区）

6月5日、美川コミュニティーセンター『農村ひろば』において、15名の会員が参加して年金友の会美川支部グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。

朝から天気が良く濃い日差しの中、参加者は和気あいあいとプレーに熱中しました。また職員も各組に交じり競技を行い、ベテランの方に指導を受けるなど参加者と職員の親睦がより一層深まりました。

9月には、年金友の会浜田地区のグラウンド・ゴルフ大会が行われます。みなさんご参加くださいね。



年金友の会 金城地区

年金友の会金城地区グラウンド・ゴルフ大会を7月17日、今福スポーツ広場グラウンド・ゴルフ場において47名の参加者で開催しました。前日までは大雨で開催を心配していましたが、当日は曇りで日差しも厳しくないグラウンド・ゴルフ日和となりました。

開会式では、河田岳志会長が「熱中症に気を付け、楽しんでプレイいたしましょう」と挨拶された後、一斉にゲームをスタートしました。この大会は10月2日に行われる、いわみ中央地区本部地区本部長杯の予選大会も兼ねており、白熱した大会となりました。ホールインワンは9本と、たくさんの方にホールインワン賞を獲得していただきました。親睦を深めることが出来た良い大会となりました。



優勝	河村 文雄 さん
準優勝	河田 岳志 さん
3 位	横田 雪生 さん

JA中四国女性組織

リーダー研修会

金城女性部 宮本美保子さん 発表



7月18、19日の両日、愛媛県で開催されたJA中四国リーダー研修会へ、いわみ中央女性部より平川節美部長他4名が参加しました。研修会へは中国四国地区9県の女性部員ら264名が参加し、女性組織の新たな飛躍につなげる方策や可能性について認識を深めるとともに交流を図ることが出来ました。

女性組織活動体験が各県1名の代表により発表され、当女性部より金城女性部部長の宮本美保子さんが、『次世代に伝えたい干し大根』と題して、消費されずに廃棄される大根を「もったいない」と、干し大根づくりをきっかけに地域の高齢者や子育て世代との交流を行い『絆の輪』が広がり、女性部活動の組織力を実感されていることを発表されました。

また、体験交流では、えひめ伝統工芸士 有智佳代氏の講演後「水引で作る花ブローチ」を作成し、愛媛県の伝統工芸について体験することが出来ました。

この研修会で学んだことを女性部員と共有し、今後の活動へ生かしていきたいと思えます。



金城女性部

親睦グラウンド・ゴルフ大会開催!



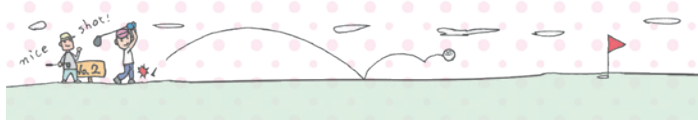
金城女性部 (宮本美保子部長) は6月6日、今福スポーツ広場で親睦グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。

当日は天候もよく広いコースの中、「あ、ゴールに入らなかつた。」「あー、惜しい。もう少し。」と声を掛け合いながら笑顔でプレーをして親睦を深めていました。

金城女性部は、今後も部員同士の繋がりを大切にいろいろな活動をしていきます。



優勝 田中 絹江 さん
2位 近重百合子 さん
3位 永見 茂子 さん



エコキャップ・プルタブ回収運動の終了について

この運動については地域貢献活動として、女性部を中心にいわみ中央地区本部と共に長年取り組んできました。

取り組み当初は自治体等多くの組織がこの運動に取り組んでいましたが、プラスチックを取り巻く社会情勢が変化したため撤退され、エコキャップ回収については管内では、いわみ中央地区本部のみが実施しているため収集量は多くなってきています。

しかしながら、分別されていないものや汚れがひどいものも多く、回収業者に送付することが出来ず仕分け作業に時間を要しているのが現状です。

また、運送のコストが増加していることや、リサイクル業者によるエコキャップ・プルタブの買取価格が低いいため回収袋代金や送料等の費用負担が年々増加しています。

このような現状から、いわみ中央女性部と共にエコキャップ・プルタブ回収運動を令和6年9月末で終了することと致しました。

何卒ご理解賜りますようお願いいたします。

JAしまねいわみ中央地区本部



地域の話題

いわみ中央地区本部



浜田市国分町の国府まちづくりセンターでは7月7日、こくふまつりが開催されました。

当日はたくさんさんの親子連れをはじめ多くの方が、地元産品の買い物や工作活動を楽しみました。

このまつりは、毎月第1日曜日に同所で開催しているこくふ朝市を、町内外の人たちに知ってもらおうと、同センターが企画し2年目の開催となりました。

朝市からひろがる こくふまつり



スが設けられました。ゲームの結果に応じて景品のお菓子が変わるの、各ブースで子どもたちが楽しそうに盛り上がる姿や地元産品などを求める方で大盛況でした。

また、アクセスサリィ作りの体験教室があり、参加者はヘアピンや指輪などを手作りし、思い思いの作品に仕上げ嬉しそうにするなど、地域の交流の場としてにぎわっていました。



JA女子大学 第8期生募集

やりたいこと見つけて、楽しく学んで
新しい仲間を作ろう♪

JAしまねいわみ中央地区本部では、令和6年9月1日より
『JA女子大学 第8期生』の募集を開始します！

詳しくは、9月1日（日）新聞折込、当地区本部発行 コミュニティ誌『ハートふぁーむ』
または、ホームページをご覧ください。URL : <https://ja-shimane.jp/iwamityuou/>

【お問い合わせ先】企画総務部 ふれあい課 TEL : 0855-22-0202



えのう ちよっと宮農!! 長ネギの育て方・栽培方法

ネギは特有の辛味と風味をもっており、薬味・鍋物などの日本料理に欠かせない野菜です。ネギを刻んだ時目にしみる硫化アリルは消化液の分泌を盛んにし、また便秘、整腸などに効果があります。

なお、長ネギより葉ネギの方がミネラル、カロテン、ビタミンC・Bが多く含まれ、栄養価に優れています。

今回は、長ネギについて説明します。

栽培スケジュール

● 種まき ▲ 苗植え付け ■ 収穫

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
長ネギ (周年)		■						●		▲		
			▲	▲	■	■	■			●		



1. 種まき・育苗管理

種をまき溝に5mm間隔でスジまきし、3～5mmの厚さに覆土して手でしっかりと押さえ、水やりします。間引きは、草丈が6～7cmの頃1.5cm間隔で1本に、草丈10cmの頃3cm間隔で1本になるようにします。

追肥は、種まき後1カ月ごとに化成肥料を1平方メートル当たり1握り（約50g）をばらまき、クワや移植ゴテなどで軽く耕します。

2. 土づくり・定植

長ネギの育苗畑には、種まきの2週間以上前に苦土石灰を施してよく耕し、1週間前に堆肥、化成肥料を施し、再度耕します。

(施肥例 1㎡当たり)

肥料名	元肥	備考
苦土石灰	100g	種まき2週間目に
完熟堆肥	3kg	種まき1週間前に
野菜美人	150g	

3. 追肥・土寄せ

長ネギの場合は種まきした畑でそのまま育て、土寄せと追肥は収穫までの間に1、2回行います。

4. 病害虫

さび病は5～6月と10～12月に、べと病は残暑の頃に多く発生しやすいので、薬剤散布して防除します。乾燥している時にはスリップス、アブラムシなどが発生するので、早めに薬剤を散布します。

5. 収穫

長ネギは、植え付け後90日～120日ほどかかって収穫することができます。播種から考えると、収穫までの栽培期間が長くかかることがわかります。収穫の目安は、葉の長さ（草丈）が15cm以上に伸びたときです。長ネギの収穫は、軟白部分を傷めないように注意しながら、鍬（クワ）で土を掘り上げ、軟白部分がよく見えるようになってから手で抜き取ります。綺麗なネギ（良品のネギ）は、スーパーで販売されているように軟白の部分と緑葉の部分がしっかりと綺麗に分かれます。葉は緑色が濃く、軟白部分はしっかりと締まっていることが理想です。

水稻栽培ワンポイント

■乳白米などの白未熟米の発生要因と対策

出穂期後20日間の平均気温が、27℃以上の高温が続くと、籾の充実度が落ち、乳白米などの白未熟粒が発生します。対策としては中干で根の活性を維持した後、出穂後20日以上は間断灌水（飽水管理）を続けましょう。また、落水期については玄米（一粒のお米）の大きさが決まるまで約4週間かかります。早期の落水は米の品質を落とすので出穂後30～35日後に落水しましょう。





島根県西部農林水産振興センターからのお知らせ

安全で美味しい島根の県産品認証制度「美味しまね認証」

美味しまね認証とは

美味しまね認証は、産品が県の定めたGAP（農業生産工程管理）基準に基づき、生産されていることを認証する県のGAP 認証制度です。

《認証マークが目印！》

「縁結び」にちなんだ「水引き」をモチーフとし、消費者への贈り物の気持ちが込められています。



GAPとは

GAPとは「Good Agricultural Practice（よい農業の取り組み）」の略で、「農業生産工程管理」と訳されます。これは食品安全、環境保全、労働安全等の観点から、生産・出荷工程において、事前に危害を及ぼす要因を検討し、未然防止のための管理手順、点検項目を定め、これに沿って農業生産の実施、記録、点検、評価を繰り返して行う一連の取組のことです。

持続可能な取組へ

島根県内の生産者は、日々GAP の取組を積み重ねることで、食品の安全だけでなく、水や土・生き物などの周囲の環境保全に努め、作業者の労働安全にも配慮しながら、持続可能な農業を目指しています。



食卓に安全を届ける

異物混入を防ぐ、農業を正しく利用するなどの取組を行っています



環境にやさしい

農薬や肥料は適切に使い、さまざまな生き物との共生を目指し、環境保全に配慮した取組を行います



農業者の笑顔を守る

安全に農作業を行うために危険な作業を把握し、服装や機械の使い方など、ルールをつくって実践します



動物にやさしい

飼育環境に配慮した農場で、良質な飼料や水の給与を行い、適切に管理します

美味しまねフェアの開催について

【開催内容】

日時：令和6年9月21日（土）9:30~13:30

場所：サンピコごうつ

内容：美味しまね認証産品（農産物）の販売



美味しまね認証についてのお問い合わせ

美味しまね認証の詳しい情報は、ホームページからご覧いただけます。

美味しまね認証ホームページ <https://oishimane.com/>



《問合せ先》島根県西部農林水産振興センター農業振興部 TEL:0855-29-5622



農産のために 地域のために 明日のために

JA 共済の地域貢献活動

いわみ中央地区本部

令和6年産米 長期検査計画

検査 場所名	予定日	8月		9月																													
		30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
石 央						●			●				●			●					●		●					●		●			
江津ライス					●			●				●			●								●						●				●
三隅ライス	●						●							●							●								●				
金城ライス					●			●				●			●							●					●		●				●
旭 ライス						●			●				●			●					●		●							●			
弥栄ライス													●								●							●					

検査場所名	10月																														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
石 央																															
江津ライス																															
三隅ライス																															
金城ライス																															
旭 ライス																															
弥栄ライス																															

※注意

- 検査予定日は変更になる場合があります。
- 出荷のご連絡は、あぐり中央店・あぐり南店・各地区の支店・事業所・ふれあい店または各地区の営農経済渉外員へお願いします。
- 江津地区においては10月よりライスセンターの修繕工事にはいりますので、出荷のお問い合わせは江津営農経済渉外員又は農産課までお願いします。

浜田地区… ●あぐり中央店 (22-8827) ●浜田西支店 (27-1003) ●浜田東ふれあい店 (28-0001)
●浜田営農経済渉外員 (080-2914-0522)

江津地区… ●あぐり中央店 (22-8827) ●江津支店 (52-2061) ●江津西ふれあい店 (53-0855)
●江津営農経済渉外員 (080-2927-3390)

三隅地区… ●あぐり中央店 (22-8827) ●三隅支店 (32-0280) ●三隅営農経済渉外員 (090-3376-0647)

金城地区… ●あぐり南店 (42-1409) ●雲城ふれあい店 (42-1313) ●金城営農経済渉外員 (080-2910-9272)

弥栄地区… ●あぐり中央店 (22-8827) ●弥栄事業所 (48-2221) ●弥栄営農経済渉外員 (080-2892-5817)

旭 地 区… ●あぐり南店 (42-1409) ●旭事業所 (45-1212) ●旭営農経済渉外員 (080-8980-6113)

令和6年秋季農繁期休日営業について

改定前

9月 平日・指定日 営業 (8:30 ~ 17:00)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

○ 〓 休日営業日

改定後

9月 平日・指定日 営業 (8:30 ~ 17:00)

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

休日営業店舗

あぐり中央店 0855-22-8827
浜田市黒川町 3741

あぐり南店 0855-42-1409
浜田市金城町今福 104-1

ぶどう直売所開設のご案内!!

秋の味覚!ぶどうのシーズンがいよいよ始まります!!

9月よりぶどう直売所にて、**ピオーネ**を中心に販売中!

★直売期間：9月2日(月)～9月30日(月)

*生育状況により変更になる場合があります。
*火曜日・土曜日はお休みさせていただきます。
祝日により休みになる場合もあります。

★直売時間：午前9時00分
～11時30分まで

*なくなり次第終了します。

★進物や贈答への宅配受付も行います。

お問
い
合
わ
せ
先

JAしまね いわみ中央地区本部営農経済部 特産課
TEL：0855-22-8818 FAX：0855-22-0679



メガネ・補聴器の専門店 PARIS MIKI

1級 眼鏡作製技能士

運転用、読書パソコン用、遠近両用でも

認定補聴器技能者

メガネ一式

移動型店舗 店長 狩野 昭弘

¥13,200~税込

「移動型店舗
パリミキカー」



お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ 090-6955-1612 へ お気軽にどうぞ

令和6年 9月度 JA巡回スケジュール いわみ中央地区

2日(月)	9時～12時	旧 市木事業所	24日(火)	9時～14時	Aコープやさか
9日(月)	9時～14時	Aコープあさひ	25日(水)	9時～12時	波佐まちづくりセンター ときわ会館 前
10日(火)	9時～12時 13時～16時	阿刀の里(跡市) P 江津西ふれあい店	26日(木)	9時～14時	Aコープあさひ
12日(木)	9時～14時	Aコープみすみ	27日(金)	9時～14時	Aコープみすみ
13日(金)	9時～14時	Aコープやさか			

いわみ中央地区本部ローンセンター ローン相談開催中

第2・第4土曜日開催!

9月14日・28日

受付時間

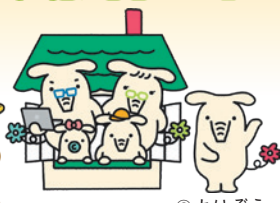
9:30～15:00

いわみ中央地区本部1階
浜田支店でお待ち
しております!!

お問
い
合
わ
せ

JAしまね いわみ中央統括支店ローンセンター
〒697-0024 島根県浜田市黒川町3741

TEL (0855) 22-8816
FAX (0855) 22-0203



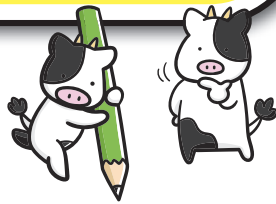
©よりぞう

クロスワードパズル

農協全国商品券をもらっちゃおう!!

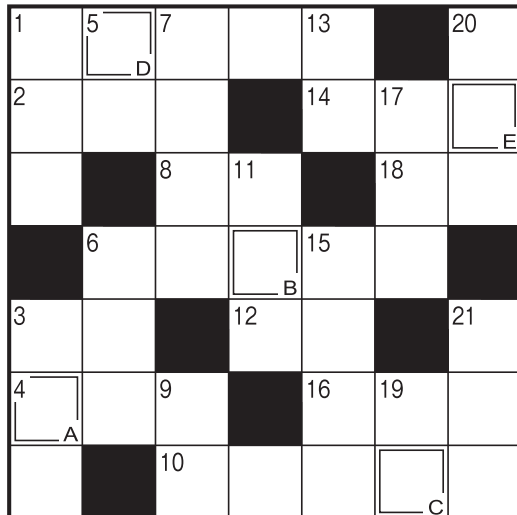
出典：(株)新聞連『JA広報通信』2024年8月号

CrossWord Puzzle



二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タデのカギ

- ① わらなどで編んで米や炭を詰めます
- ③ 「」や () のこと
- ⑤ 長く連れ添った夫婦は似てくる
とか
- ⑥ アキアカネ、オニヤンマといえ
ば
- ⑦ からすみはボラなどの——を
加工したものです
- ⑨ 食パンのふちの部分
- ⑪ 筒に強く息を送り込んで矢を飛
ばします
- ⑬ 派手なところがありません
- ⑮ 明日の授業に備えて——をし
た
- ⑰ 房で売られる果物
- ⑲ 神の起こした洪水を箱舟で乗り
越えました
- ⑳ 天竺牡丹(てんじくばたん)と
も呼ばれるキク科の花
- ㉑ 一時的に寝ること

ヨコのカギ

- ① 9月2日は——の日。ハズレく
じ対象の抽選もあります
- ② ドミソとかドファラとか
- ③ 握りずしを数えるときに使う言
葉
- ④ ミョウガはこの部分や若い茎を
食べます
- ⑥ 前身は江戸です
- ⑧ 敬老の日に——へ日本酒を贈っ
た
- ⑩ 素晴らしい考えのこと
- ⑫ 南の島に似合う植物
- ⑭ ——手振りを交えて説明した
- ⑯ 急須のお茶を注ぎます
- ⑰ ノブを持ってあげます

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名(JAしまね全体)の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先・締切

〒697-0024 浜田市黒川町3741番地
JAしまね いわみ中央地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
2024年9月6日(金)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆

「トコロテン」

リ	コ	ビ	ン	ソ	ウ
ス	キ	ー	ダ	ウ	ン
ウ	マ	ス	メ	ガ	
キ	ン	ト	ウ	ン	
ア	ユ	ア	メ	シ	
ロ	ウ	ヒ	タ	イ	ヤ
エ	リ	ス	テ	テ	コ

川柳の広場

最優秀賞

人生は悔いと焦りの鬼ごっこ

津和野町 田中とよし様

優秀賞

あれこれとあつて世の中難しい

隠岐の島町 上川 晃一様

逆らわず流れに任す老い二人

出雲市 櫛井 伸幸様

楽しさを見つけて挑戦旅続く

江津市 湯浅志津子様

佳作

大空を突き抜けていく好奇心
あるがまま生きた足跡日記帳
風呂直し畳を替えて孫を待つ
思い出の鯉のぼり飛べ僕もどぶ
気がつけば七十の坂越えていた

出雲市 北村 功様
出雲市 佐野美和子様
江津市 渡津かずお様
浜田市 山内 睦重様
益田市 竹田 数子様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」9月号定価 922円
ご購入はお近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。(最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句)9月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

あて先
〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX: 0852-67-7708
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

知らないで損！ 農業者年金の税金対策と保険料補助



まず農業者年金ってなに？

サラリーマンの年金
(厚生年金)報酬比例部分(老齢厚生年金)
国民年金(老齢基礎年金)

2階立て

農業者の年金
(国民年金のみ)

国民年金(老齢基礎年金)

1階立て

農業者の年金はサラリーマンと違い公的年金の1階部分である国民年金のみです。厚生年金を受給するサラリーマン並の年金を確保するには、自分で2階部分の年金を準備する必要があります。この2階部分として農業者には農業者年金があります。

農業者の年金(国民年金+農業者年金)

農業者年金
国民年金(老齢基礎年金)

でも…加入する条件があるんでしょ？

農業者年金 へは…

国民年金
第1号
被保険者
国民年金保険料
納付免除者を除く年間60日以上
農業に従事

65歳未満

※ただし、60歳以上は、国民年金の任意加入被保険者

の方ならどなたでも加入できます。

農業者年金は支払った保険料の全額が社会保険料控除の対象です。



今年は豊作で収入が良かったな…
だけど税金が多くなるのでは…
なにか節税対策はないかな？

前納すれば翌年1年間の保険料も **全額社会保険料控除** に使える！

生計を一つにする配偶者や後継者の保険料を支払った場合は、その合計額(最高保険料6万7千円の場合は3人分で24万1千2百円)が経営主の所得から控除できます。

農業者の担い手には、保険料の国庫補助があります。

保険料の国庫補助 を受けるには…

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、

- **39歳までに加入**
- **農業所得が900万円以下**
- **下記の農業者の担い手要件** を満たせば受けられます。

- ① 認定農業者で青色申告をしている人
- ② 認定新規就農者で青色申告している人
- ③ ①または②の要件を満たす経営主と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者、後継者 など

月額最大1万円の保険料補助

詳しい内容のお問合せは…

お近くの農業委員会・JAへ！！

ハチを見かけたら巣づくり警報！

無料調査

ハチ
駆除

近寄らず、触らず!!

ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は
最寄りのJAまでご連絡ください。
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店に
お問い合わせください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

Kodama 株式会社 コダマサイエンス

■ 本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■ 松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■ 出雲営業所 / ☎0853-31-9600

■ 益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■ 江津出張所 / ☎0855-52-6852

■ 隠岐営業所 / ☎08512-2-2471



焼きカボチャのほかほかマリネ



コメント

- ・カボチャの焼き浸しは、冷蔵庫で5日間保存できます。
- ・香ばしく焼き上げたカボチャが熱いうちに液に浸すと味がしみ込みやすいです。
- ・カボチャはオーブントースターでも焼けます。また、フライパンで焼いても美味しくできます！

アレンジ

- ・カボチャの焼き浸しは、マヨネーズと和えてサラダにしたり、メインの付け合わせにしたり、すぐ使えて便利です。
- ・カレー粉やマスタードを加えると、スパイシーな味も楽しめます。
- ・パプリカはニンジンやトマトに、紫タマネギは普通のタマネギに替えたり、シシトウ、ピーマン、レンコンもOK！

材料（4人分）

- カボチャ… 1/3玉（600g）
A 酢……………大さじ2
水……………50cc
白だし……………大さじ2
ベーコン……………2枚
しめじ……………1袋
紫タマネギ……………1玉
赤パプリカ……………1/2玉
オリーブ油……………小さじ1
B 酢……………大さじ1
オリーブ油……………大さじ1
砂糖……………小さじ1
塩……………少々
パセリ（または青しそ） ……適量

作り方

- ①カボチャは種とワタを取り、厚さ7～8ミリの薄切りにする。
- ②魚焼きグリルにカボチャを並べ入れて焼く。両面こんがり焼き色をつけ、柔らかくなったら（竹串がすっと通るまで10分程度焼く）バットに取り出し、混ぜ合わせたAをかけて浸しておく。（※カボチャの焼き浸し）
- ③ベーコンは長さ1センチに切り、しめじは小房に分けておく。
- ④タマネギ、パプリカは薄くスライスする。
- ⑤フライパンにオリーブ油を熱し、ベーコンを炒め、しめじも加えてしんなりするまで炒め、火を切る。
- ⑥⑤にスライスしたタマネギとパプリカ、混ぜ合わせたBを加え、②のカボチャの焼き浸しにかける。
- ⑦器に盛り、パセリまたは青しそを飾る。

材料（4人分）

- ナス……………2本
豚ロース薄切り……………8枚
青しそ……………8枚
小麦粉……………適量
サラダ油……………大さじ1
A 梅干し……………1個
酒……………大さじ1
みりん……………大さじ1
濃口醤油……………大さじ1
水……………大さじ1

作り方

- ①ナスは長さを半分に切って、4等分にし、小麦粉を薄くまぶす。
- ②豚肉を広げ、小麦粉を軽く振り、青しそ1枚、ナス2本を肉の上に乗せて、らせん状に巻く。残りも同様に巻く。
- ③フライパンに油を熱し、②に小麦粉を薄く振り、巻き終わりを下にして並べて焼く。
- ④焼き色がついたら裏返し、蓋をして弱火で4～5分間蒸し焼きにする。
- ⑤フライパンについた余分な脂をふき、Aを加えてからめる。

コメント

- ・梅の酸味で食欲倍増！お弁当のおかずやおつまみにもおすすめです！
- ・ナスは体の熱を冷まして、余分な水分を排出し、消化機能も高める夏にぴったりの食材です！

ナスの肉巻き梅照り焼き



アレンジ

- ・豚ロースは豚バラ肉に替えても美味しくできます！
- ・ナスをズッキーニに替えてもOK！

健康
散歩

もしかして夏バテ予備軍かも?!危険度チェックで備えよう

JA島根厚生連

暑い日が続いていますが、みなさん『夏バテ』していませんか？

『夏バテ』とは、夏の暑さによる自律神経系の乱れに起因して現れる様々な症状のことで、「体がだるい」「食欲がない」「疲れやすい」「寝不足」などが主な症状です。

【夏バテ危険度チェック】

- | | |
|---|---|
| ☐ 汗をかきにくい | ☐ 朝（起きた時に）調子がない |
| ☐ 空調の効いた場所にいる時間が長い | ☐ 運動習慣がありません |
| ☐ 冷たい飲みもの・食べ物を多くとる | ☐ 生活リズムが不規則 |
| ☐ 胃腸の不調がある | ☐ シャワーで済ませることが多い |
| ☐ 睡眠が足りてない | |

6個以上▶夏バテ予備軍/3～5個▶要経過観察/2個以下▶異常なし

夏バテチェックリスト（リンナイ調べ/監修：せたがや内科・神経内科クリニック 久出堅司院長）

3個以上当てはまる時は、早めの生活習慣見直しが必要です。まずは、できるところから少しずつ改善していきましょう。

【毎日の夏バテ予防法】

1. 日頃から、昼寝を10～15分程度とる
2. 軽い脱水状態や熱中症初期には経口補水液などでの対処を徹底する
3. 軽い脱水症状や熱中症になったあとは、1～2週間回復に努め無理をしない
4. 暑い夜は、エアコンを使い快適な睡眠環境で十分な睡眠をとる
5. 冷たい飲み物の過剰摂取を控え、胃腸に負担をかけないように注意する
6. 適度な運動や入浴で、体に備わっている体温調整機能を働かせる

適切な水分補給、食事、運動、睡眠など生活習慣に注意し、生活リズムを整えましょう。それでも「夏バテ」症状が続く場合は、もしかしたら病気が潜んでいるかもしれません。医療機関へのご相談も考えてみてください。

まだまだ、暑い日が続きます。夏バテに気を付けて夏を乗り越えましょう。



【編集後記】 今年は家庭菜園で初めてシシトウを育てており、カメムシ駆除に苦戦しながらもたくさんの実がなってホクホクしています。収穫後、食べ方に迷いましたが、個人的にベーコンと炒めるのが美味しかったです。他にもおすすめの食べ方がありましたらぜひ教えてください😊☺️（古）